

製品名: Atm ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07311**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	350kDa

抗原情報

遺伝子名	ATM
別名	ATM; Serine-protein kinase ATM; Ataxia telangiectasia mutated; A-T mutated
遺伝子 ID	472.0
SwissProt ID	Q13315
免疫原	抗血清はヒト ATM 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1950-1999

背景

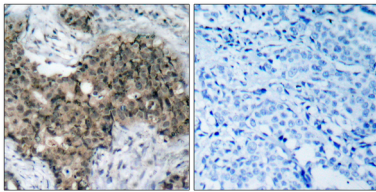
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PI3/PI4 キナーゼファミリーに属します。このタンパク質は、リン酸化を行う重要な細胞周期チェックポイントキナーゼであり、腫瘍抑制タンパク質 p53 および BRCA1、チェックポイントキナーゼ CHK2、チェックポ

イントタンパク質 RAD17 および RAD9、DNA 修復タンパク質 NBS1 など、さまざまな下流タンパク質の調節因子として機能します。このタンパク質と密接に関連するキナーゼ ATR は、DNA 損傷に対する細胞応答とゲノム安定性に必要な細胞周期チェックポイントシグナル伝達経路のマスターコントローラーであると考えられています。この遺伝子の変異は、常染色体劣性疾患である毛細血管拡張性運動失調症に関連しています。[RefSeq 提供、2010 年 8 月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、疾患: ATM の欠陥は、毛細血管拡張性運動失調症 (AT) の原因です [MIM: 208900]。ルイ・パー症候群としても知られ、A、C、D、E の 4 つの相補群が含まれます。このまれな劣性疾患は、進行性小脳失調症、結膜と眼球の血管拡張、免疫不全、成長遅延、性的未熟を特徴とします。

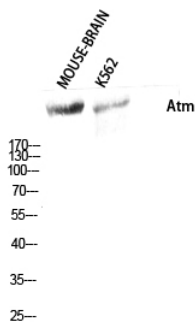
研究分野

細胞周期 G1S;細胞周期 G2M_DNA;NF_kappaB;タンパク質アセチル化

画像データ



ATM 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Atm ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いたマウス脳 K562 細胞のウェスタンブロット解析